

# 台風第6号による大雨被害と四国地方を中心とした国土強靱化等の効果

令和5年8月31日10時00分時点  
※数字は速報値

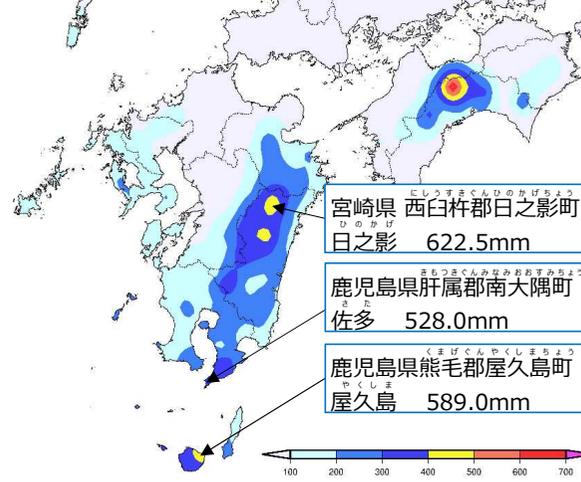
- 台風第6号の経路に近い沖縄、九州、四国地方では大雨となり、宮崎県、大分県、高知県、愛媛県の4県で線状降水帯が発生し、3か箇所の雨量観測所(48時間降水量)で観測史上1位を記録。
- 県管理の9河川で溢水等による氾濫が発生。この影響で、沖縄、九州、四国地方の約170棟の住家で浸水被害が発生。
- 仁淀川水系波介川では、これまで仁淀川本川の背水の影響により浸水被害が頻発していたものの、波介川河口導水路の整備(H24年5月運用開始)による抜本的な治水対策によって、今回の台風第6号では、大幅に浸水被害を軽減。
- 110ダムでの洪水調節(事前放流48ダムを含む)の実施によって、下流河川の水位上昇を抑え、被害を回避・軽減。

## 台風第6号による大雨の状況

【近年発生した大雨等と台風第6号による大雨の比較】

		令和4年 台風第14号	令和5年 台風第6号
アメダス 総降水量	期間 [日数]	9/15~9/19 (5日間)	8/9~8/10 (2日間)
	総和	約7.7万mm	約3.1万mm
観測史上1位の更新数	72時間降水量	3地点	2地点
	48時間降水量	6地点	3地点
	24時間降水量	13地点	2地点
	12時間降水量	14地点	2地点
	6時間降水量	5地点	3地点
	3時間降水量	3地点	2地点
1時間降水量	-	2地点	
氾濫等発生河川数		57河川	9河川
土砂災害発生件数		111県	58件

※ 総降水量は、全国1,032地点のアメダスで集計  
※ 令和5年台風第6号の氾濫等発生河川数及び土砂災害発生件数は、令和5年8月31日までの集計



48時間降水量の観測史上1位の値を更新した地点

等雨量線図(期間: 8月9日0時~8月10日24時)

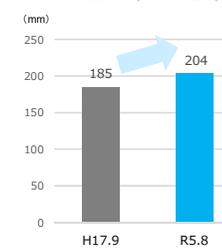
## 河川整備等の効果

### 仁淀川水系波介川の河川改修(高知県土佐市)



### 【整備効果】

■ 総降水量  
(家後雨量観測所(高知県土佐市))



■ 波介川における浸水戸数



■ 波介川における浸水面積



家屋浸水被害を大幅に軽減

浸水面積を大幅に軽減

## ダムの洪水調節(事前放流含む)

○ ダムの洪水調節(事前放流含む)により、下流河川の水位上昇を抑え、被害を回避・軽減。【洪水調節実施ダム110ダム(事前放流48ダム含む)】

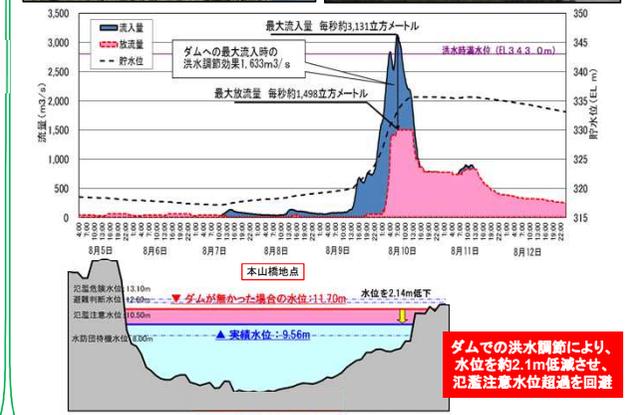
＜事前放流実施状況＞



大保ダム事前放流状況(沖縄総合事務局管理:大保川水系大保川)

○ 早明浦ダムにおいては、最大流入量約3,130m<sup>3</sup>/sの洪水が発生。洪水調節により約1,630m<sup>3</sup>/sを貯留し、本山橋地点において約2.1mの水位を低減させたと推定。

早明浦ダム【洪水貯留前】 8月3日 9:00撮影 早明浦ダム【洪水貯留後】 8月10日 16:00撮影



ダムでの洪水調節により、水位を約2.1m低減させ、氾濫注意水位超過を回避

※速報値であり数値が変更となる場合があります。